

# 愛媛大学 「科学力と国際力を伸ばす次世代科学技術人材の育成プログラム —愛媛で学び、世界を目指せ！—

## ●育成したい人材像

- ・世界基準の科学技術への深い理解をもつ。
- ・既存の科学技術を理解した上で、ブレークスルーとなり得る疑問を持つ。
- ・疑問を解決するために粘り強く、多角的に情報を分析し、解決法を考えつく。
- ・多方面から意見や協力を取り入れて、相乗的に課題を深化させる。
- ・研究成果を世界に向かって伝播できる。

## ●背景（問題意識）

- ・愛媛に高い頻度で通える地域の生徒を対象とした、科学人材育成が必要。
- ・科学技術研究や産業を支え、国際レベルで活躍できる人材の育成が必要。

## ●企画の主な特徴

愛媛と世界を結ぶ科学技術、資源・産業を活かした  
新産業を創出し、世界で活躍する科学技術人材育成

- ・理数教育に実績とノウハウを有する愛媛大学が主体となり、主に愛媛県の教育機関、研究機関、関連企業と連携した、科学技術人材の育成プログラム。
- ・本県の科学技術を活用したイノベーションに興味を持ち、地域から世界を変える科学技術者を目指す受講生を四国及び近県から募集。
- ・基盤学習：基礎科学から先端科学に至る体験型講義を毎月4回実施し、毎回、フリーディスカッションを行う。インターネットによる自宅学習にも対応。
- ・展開学習：受講生の希望のテーマで課題研究を実施。開始時期及びテーマのマッチング等は柔軟に対応。相互に内容を把握し、相乗的に課題を進化させる。
- ・発展学習：留学生や外国人研究者などとの交流、科学技術英文の読解などによる国際性の育成、及び国内外の学会発表などによるプレゼン能力の育成。

## ●企画の主体組織

愛媛大学 グローバルサイエンスキャンパス運営委員会

## ●連携機関

松山大学、愛媛県教育委員会、愛媛県総合教育センター

## ●企画の最終目標

世界基準の科学技術への深い理解を養い、既存の科学技術のブレークスルーとなる疑問に粘り強く取り組み、成果を世界に向かって発信できる人材の育成を行う。

研究発表総数 20件 (国際学会等6件, その他14件)  
論文発表総数 12件 (外国語論文3件, その他9件)

7～9月:愛媛県内60名, 近県10名

書類とプレチャレンジによる一次選抜

8月～初年度2月:40名

講義と実習:月4回(類似のテーマを2回実施)  
英語で実施することもある  
フリーディスカッションの時間を確保  
e-ラーニング, ICTなどによる学習

数理・物質科学コース 生命・環境科学コース

ニーズに応じた二次選抜

希望の研究テーマあり  
10月以降随時 約5名  
テーマの最適化  
→担当教員の選定  
→研究開始  
(10月以降随時)

希望の研究テーマなし  
12月ごろ選抜 約10名  
研究テーマ設定  
→ブレインストーミング  
→テーマの絞り込み  
→担当教員の選定  
→研究開始(2月頃)

大学および在籍校で研究推進  
研究進捗状況の発表・フリーディスカッション  
留学生・海外の高校生と交流  
研究機関・企業・国際学会の見学

次年度4月～12月

課題研究の推進・結果のまとめ  
受講生の報告会(学内)  
学会やコンテスト  
初年度生による次年度生の指導  
海外研究者との交流(国内および国外)  
企業研修、海外研修

計画・実施 ↑ 助言・評価

GSC運営委員会  
コンソーシアム

・コーディネータ会議  
・教育センター, 研究機関, 関連企業, 他

愛媛と世界を結ぶ科学技術、資源・産業を活かした  
新産業を創出し、世界で活躍する科学技術人材育成

基盤学習

講義, 実験, 発表

基礎知識, 基本技術  
観察力, 洞察力  
情報分析力, 論理的思考力  
課題発見力  
研究倫理, 生命倫理  
基礎的科学英語力

展開学習

先端科学研究への取り組み  
シナジェティックな研究展開

先端科学技術の理解  
独創性, 創造性  
主張と共感, 協調と連携  
切磋琢磨, 連帯意識  
リーダーシップ

発展学習

学会参加, 企業研修,  
海外研修

国際性, 異文化理解  
専門分野の英語力  
科学技術論文の読解  
英会話力, プレゼン能力  
世界基準の科学技術の理解  
グローバルな視点  
勤労意欲, 将来展望

グローバル  
マーケット

未来の科学者  
養成講座

スーパーサイエンス  
特別コース(SSC)

次世代科学者  
育成プログラム

SSH  
SGH  
他

サイエンス・  
リーダーズ  
キャンプ

サイエンス  
リーダーズ  
スキルアップ講座

ジュニアDr  
育成講座